

2026 年度八戸学院大学 就職先に関するアンケート 集計結果報告 (卒業生回答)

調査期間：2026 年 4 月 27 日～6 月 5 日

調査対象：2024 年度卒業生

調査方法：地域経営学科（現：地域共創学科）、人間健康学科（現：人間健康科学科）、看護学科・別科助産専攻の 2024 年度卒業生へアンケート依頼文を送付し、Google フォームでの回答を得た。

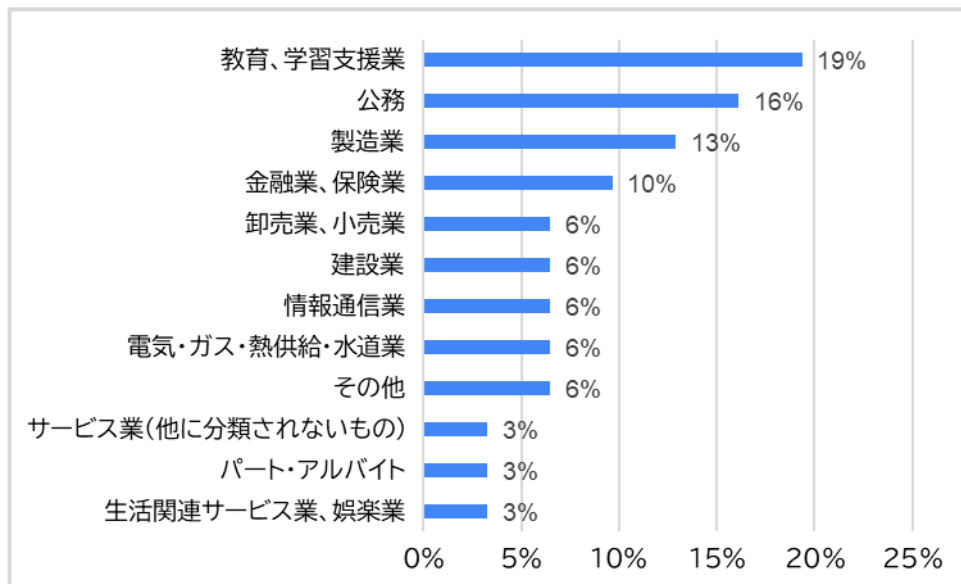
回答数：地域経営学科・人間健康学科 139 名依頼⇒31 名回答（回答率 22%）

看護学科・別科助産専攻 62 名依頼⇒19 名回答（回答率 31%）

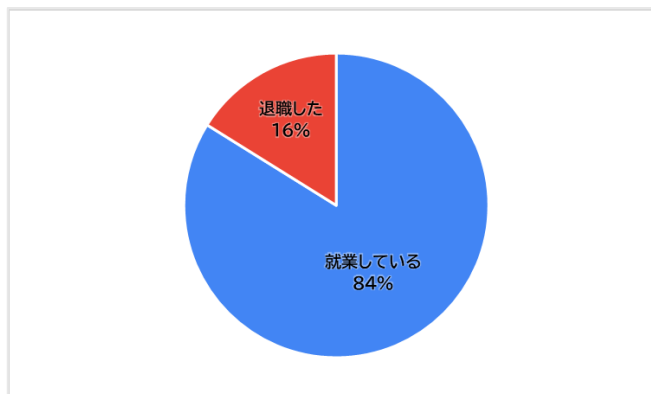
■地域経営学科・人間健康学科アンケート結果

1. 回答情報

(1) 回答を得た卒業生の卒業時の就職先の業種は下記の通りとなっている。

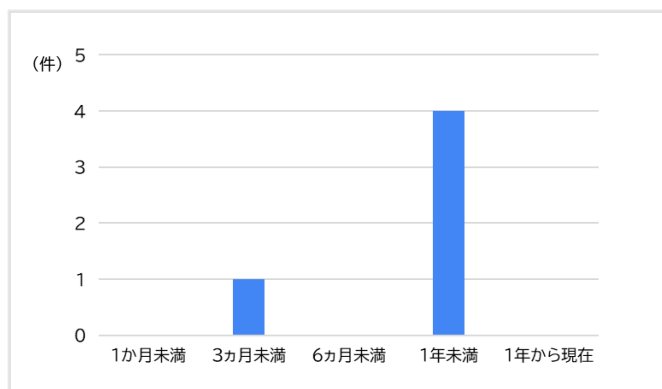


(2) 卒業時の就職先への在籍状況は以下の通りとなっている。

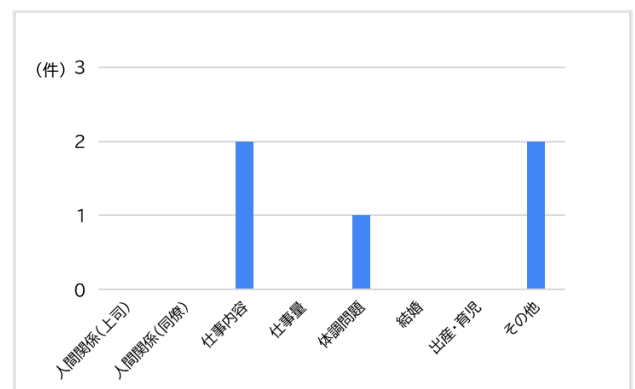


(3) 退職した方の退職までの期間と退職理由は以下の通りとなっている。

・ 期間

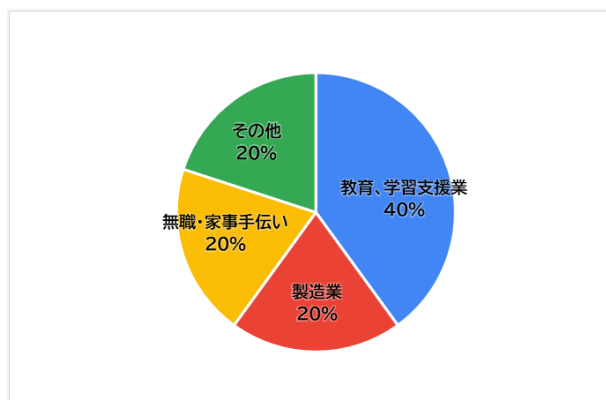


・ 理由

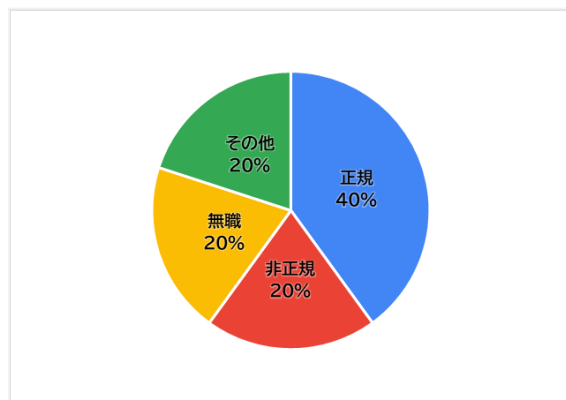


(4) 退職した方の現在の業種と雇用形態については下記の通りとなっている。

・業種

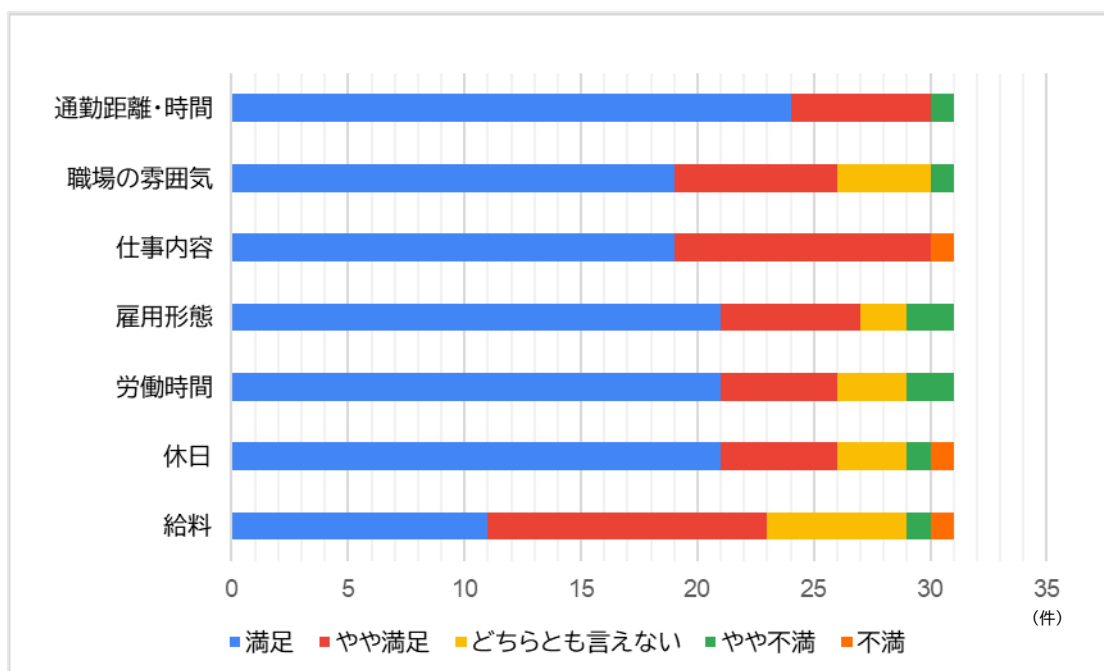


・雇用形態



2. 仕事に対する満足度

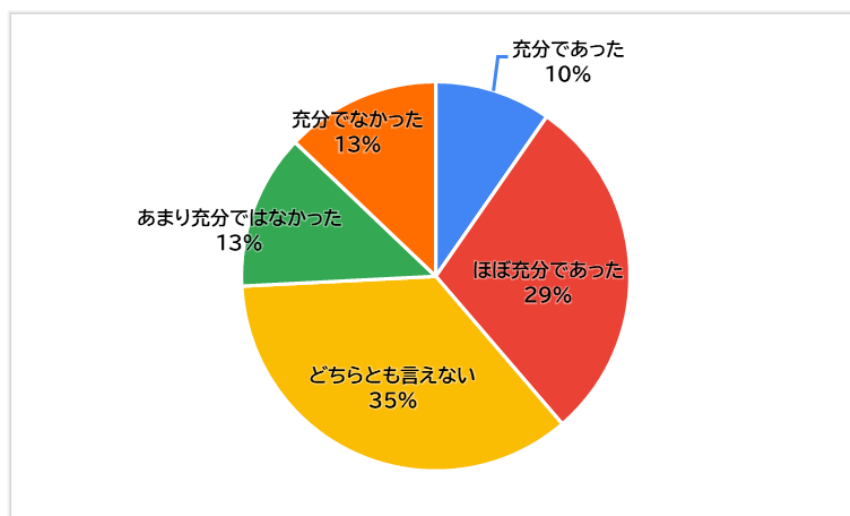
(1) 現在の仕事に対する満足は以下の通りとなっている。



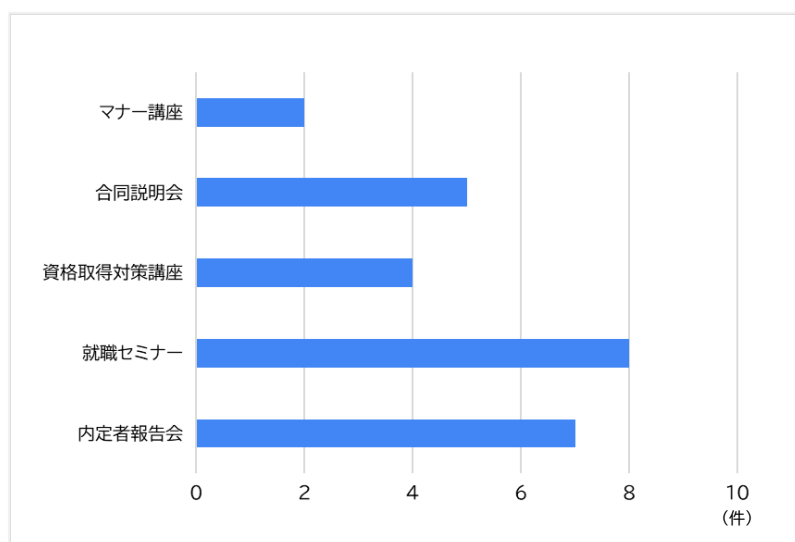
・現在の仕事に対する満足度は、昨年度に引き続き全体として高い水準を維持している。各項目においても満足度は高く、働きやすい環境が整っていると評価されている。一方で、退職理由として仕事内容が挙げられていることから、入社後に業務内容とのギャップやミスマッチが生じている可能性がある。今後もインターンシップへの参加促進や企業研究の支援を継続し、ミスマッチの防止に向けたキャリア支援の在り方について検討していく必要がある。

3. 就職支援について

(1) 本学の就職支援についての評価は以下の通りとなっている。



(2) 本学で受講して良かったプログラムについては、以下の通りとなっている。

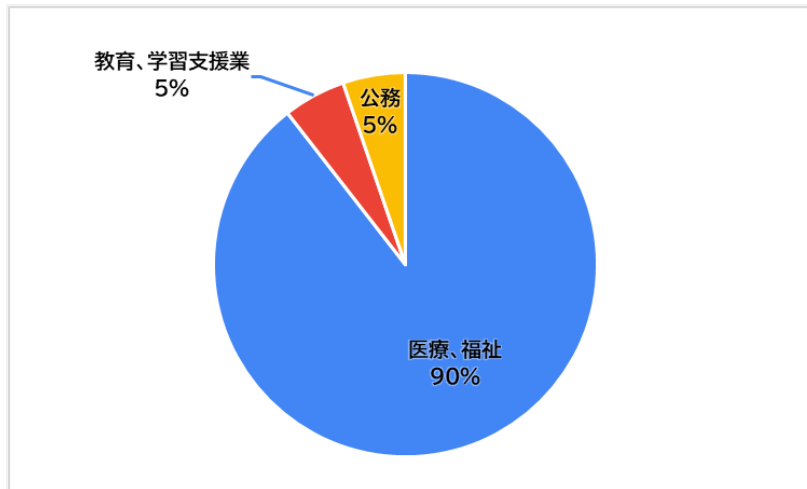


・就職支援については、「充分であった」「ほぼ充分であった」と感じている割合が約40%という結果となった。一方で、「どちらともいえない」と回答した割合も35%を占めており、就職支援に対する評価が十分に定まっていない層が一定数存在するといえる。今後は、学生のニーズをよりの確に把握し、支援内容や情報発信の充実を図ることで、満足度向上につなげていく必要がある。

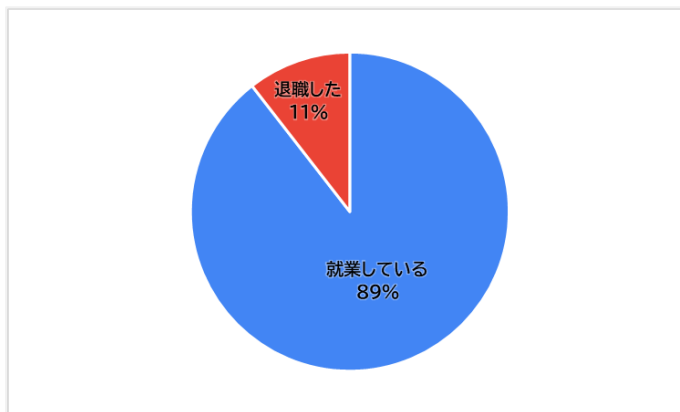
■看護学科対象アンケート結果

1.回答者情報

(1) 回答を得た卒業生の卒業時の就職先業種は下記の通りとなっている。

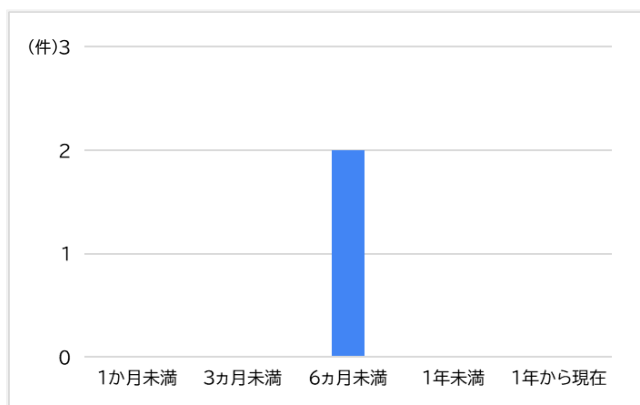


(2) 卒業時の就職先への在籍状況は以下の通りとなっている。

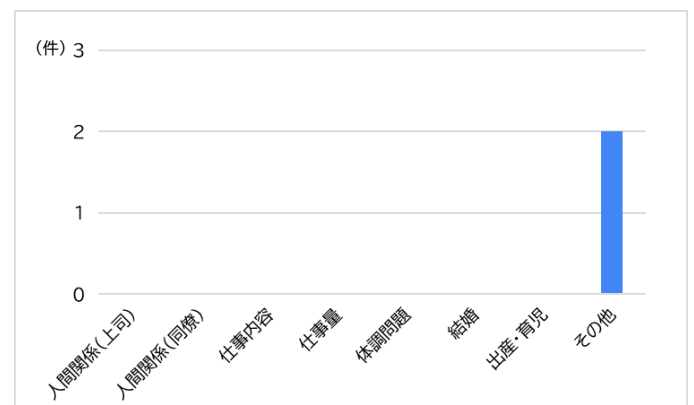


(3) 退職した方の退職までの期間と退職理由は以下の通りとなっている。

・ 期間

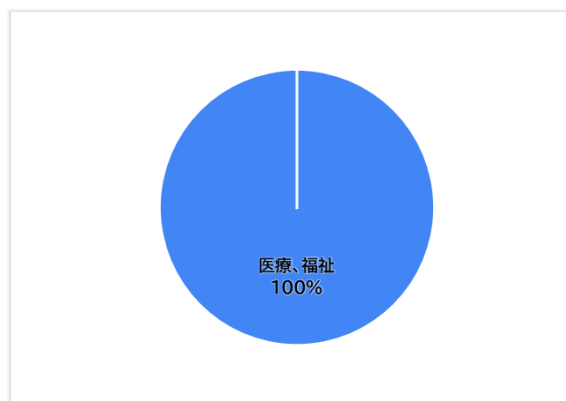


・ 理由

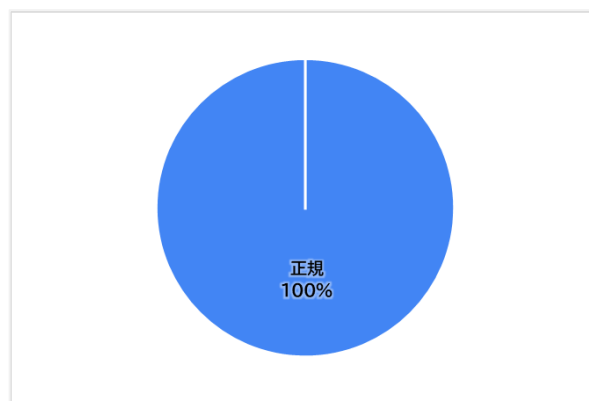


(4) 退職した方の現在の業種と雇用形態については下記の通りとなっている。

・業種

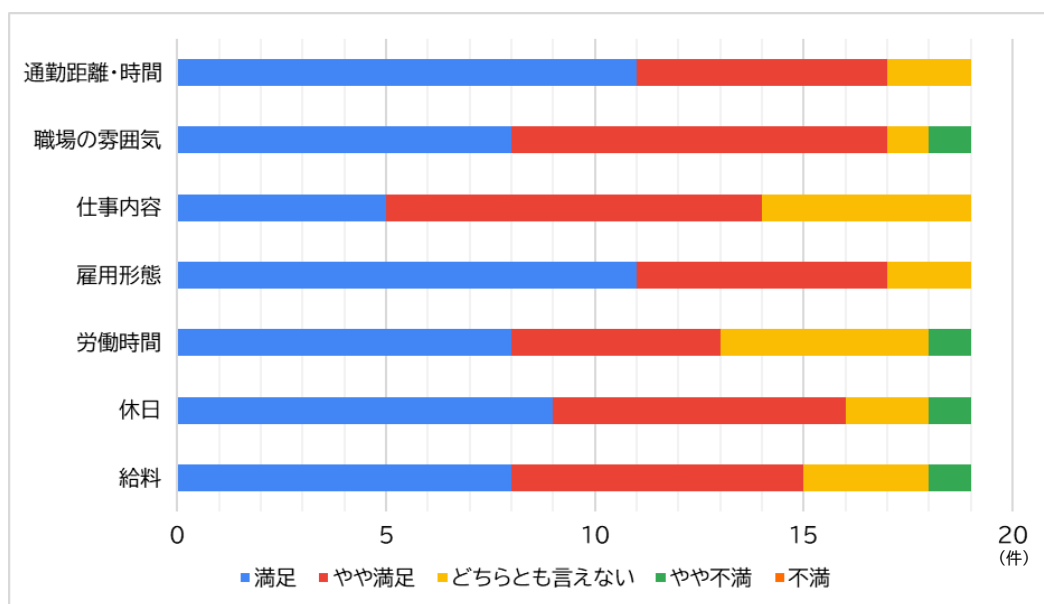


・雇用形態



2.現在の仕事に対する満足度

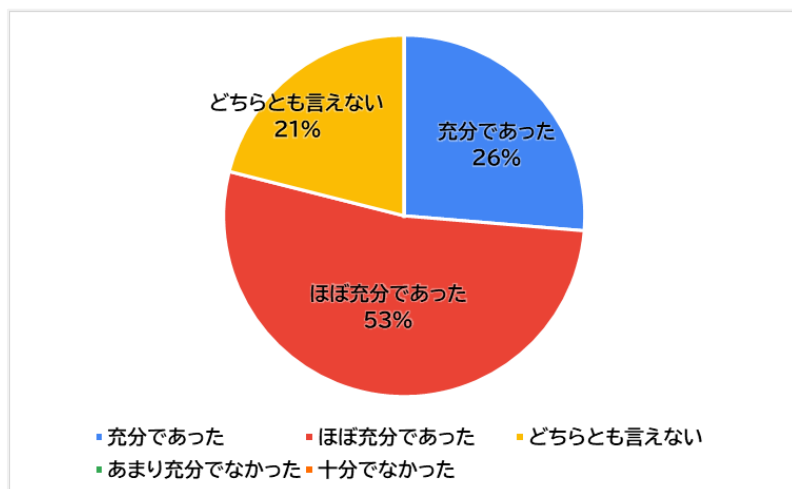
(1) 現在の仕事に対する満足は以下の通りとなっている。



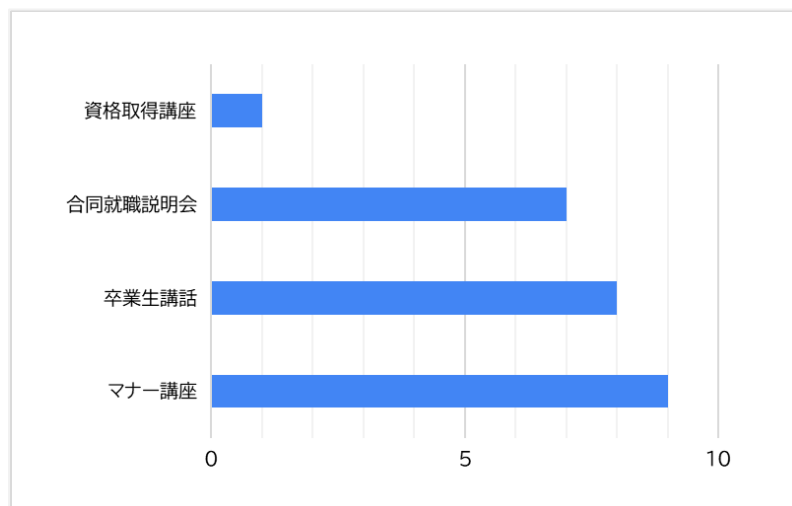
・概ね高い満足度の結果となった。一方で、「やや不満」との回答がみられた「労働時間」「休日」「給料」については、在学中から病院勤務の実態や勤務形態、給与体系等について理解を深める機会を設けることで、就職後のギャップの軽減につなげていく必要がある。

3. 本学の就職支援について

(1) 本学の就職支援についての評価は以下の通りとなっている。



(2) 本学で受講して良かったプログラムについては、以下の通りとなっている。



・就職支援については、「充分であった」「ほぼ充分であった」と感じている割合が約80%と非常に高い結果となった。看護学科では、専門職ならではの特性を踏まえ、一人ひとりの希望や状況に応じたきめ細かな就職支援を実施しており、その効果が高い満足度につながっているものと考えられる。